

2024 まちづくりアドバイザー活動事例集

【北 区】	(担当：田尾 純子)
北区まちづくりプラットフォームの構築	1
自治会・町内会向けアプリ「いちのいち」の導入支援	1
【上 京 区】	(担当：亀村 佳都)
上京ふれあいネット運営協議会の運営	2
エール交換レタープロジェクト	2
【左 京 区】	(担当：吉田 泰基)
「左京まち×biz（まちづくり交流会）」の開催	3
「左京区民ふれあいまつり2023」の開催	3
【中 京 区】	(担当：松井 朋子)
君はいくつ見つけれられるか！？企業の魅力さがし	4
通りの復権プロジェクト（Instagram 事業）	4
【東 山 区】	(担当：天岡 昌代)
住んでこそ！東山プロジェクト	
東山区移住促進にかかわる民間団体「東山くらしよし」の設立と運営	5
東山区まちづくり支援事業 東高松町向上委員会設立に向けて	5
【山 科 区】	(担当：谷 亮治)
区民提案事業支援制度に関する分析と提案	6
自治会・町内会相談対応	6
【下 京 区】	(担当：浅田 真実)
交流促進・まちづくりアイデア創出プロジェクト	7
下京区長 Meet up	7
【南 区】	(担当：加藤 ゆうこ)
区民レポーター制度による魅力発信事業への協力	8

課を超えた連携事業の取り組みへの協力	8
【右 京 区】	(担当：佐藤 友一)
右京 M-1 (まちづくりワン) グランプリ	9
右京区区長懇談会における意見交換	9
【西 京 区】	(担当：西原 秀倫)
西京ふぁみラリ	10
レッツ自治活動！大作戦	10
【西京区洛西支所】	(担当：木村 響子)
洛西“SAIKO”プロジェクト 公民連携「せせらぎシアター」	11
地域コミュニティの活性化	11
【伏 見 区】	(担当：朝倉 眞一)
久我・久我の杜・羽束師地域のまちづくり	12
伏見区「区民活動支援事業」の企画運営	12
【伏見区深草支所】	(担当：大塚 敏之)
深草ふれあいプラザ	13
深草地域の文化「保存・継承・創造」プロジェクト	13
【伏見区醍醐支所】	(担当：山田 大地)
だいご まちづくりプレイヤー養成講座(まちプレ) Part II	14
伏見区区民活動支援事業サポート	14
【地域コミュニティサポートセンター】	(担当：小林 明音)
自治会・町内会活動の事例収集と発信	15

【北区】

北区まちづくりプラットフォームの構築

【事業概要】

北区では、令和3年8月に策定した北区基本計画を推進するため、多様な方が北区のまちづくりに参加・参画いただくことを目的とした“つながり”の場である「北区まちづくりプラットフォーム」を構築しています。



このプラットフォームは、「交流を促進するワークショップ (SALON)」「まちの魅力を分かりやすく伝えるポータルサイト (MEDIA)」「気軽に困りごとを共有し合うチャットルーム (CHAT)」で構成されており、令和5年度はワークショップを2回開催しました。

【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援

- プラットフォームの進め方等について、受託事業者である学生団体に対し提案やアドバイスをを行いました。
- ワークショップのグループワークの運営の補助を行いました。

自治会・町内会向けアプリ「いちのいち」の導入支援

【事業概要】

京都市では、令和5年3月に小田急電鉄株式会社と連携協定を締結し、自治会向けアプリ「いちのいち」の普及により、地域コミュニティの活性化を目指した自主的な活動を支援しています。

北区では、学区運営のご相談の都度「いちのいち」の導入を提案し、導入される学区には説明会や登録会などを開催しています。その結果、衣笠、小野郷、元町、柊野の4学区が取組を開始されました。



導入後は地域の状況に応じ、より効果的な運用方法について、伴走支援しています。

【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援、区民の主体的な活動の支援

- 学区の説明会や相談会の内容や進め方について提案やアドバイスをを行いました。
- 登録時のマニュアル等の作成に対して、提案やアドバイスをを行いました。
- 導入した学区に対して運用のサポートを行いました。

【上京区】

上京ふれあいネット運営協議会の運営

【事業概要】

平成 24 年度に開設されたホームページ「上京ふれあいネット「カミング」や、フリーペーパー「カミングプラス」を通じて、上京区の魅力を伝える情報や行事を発信するとともに、取材を通じてできたつながりをいかして、地域コミュニティの活性化を目指しています。令和 5 年度は、取材記事の掲載と合わせて「京の五節句と年中行事」をテーマとした展示をしました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営支援

- 上京区民まちづくり活動支援事業をはじめとする事業等の取材、記事の作成
- 市民レポーターの記事の作成支援
- 庁舎 1 階区民交流ロビー展示の企画、設営

エール交換レタープロジェクト

【事業概要】

同志社大学学生支援センターボランティア支援室及び学区、京都市上京区地域介護予防推進センターと連携し、地域の高齢者と同志社大学学生との交流を「手紙」を使って進める事業です。令和 5 年度は、大学生を対象としたオリエンテーションを行ったほか、大学生が地域行事に参加する機会や、参加者が顔を合わせてプロジェクトを振り返る場を設けました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営支援

- 事業の進め方に対する助言
- オリエンテーションでの、上京区についての紹介

この事業を担当したアドバイザー 亀村 佳都

【左京区】

「左京まち×biz(まちづくり交流会)」の開催

【事業概要】協働のまちづくりの担い手として、事業者の役割はますます重要となっています。令和5年2月には、京都中小企業家同友会左京支部と左京区役所が、地域連携に関する協定を締結しました。

事業者とまちづくり団体、大学、行政等の多様な連携・交流を促すため、左京支部と左京区役所が共催した「左京まち×biz(まちづくり交流会)」を、8月26日(土)の午後に初開催しました。

当日の前半は、まちづくり活動に携わる5事業者からの事例報告やポスターセッション、後半はワークショップ方式による意見交換を行いました。意見交換では各テーブルから笑い声も聞こえ、80名以上の参加者が多様な交流を図っていました。



【役割／関わり方】

まちづくり交流会の開催に向けたトータルサポート

- 全体企画及び当日プログラム案の作成
- 事例発表事業者の紹介・調整、京都中小企業家同友会左京支部との全体調整
- 当日資料(次第等)の作成、当日進行の補助

「左京区民ふれあいまつり2023」の開催

【事業概要】4年ぶりに「左京区民ふれあいまつり」が復活しました。ふれあいまつりの場を通じて、左京区の多様なまちづくり活動や伝統行事をPRしようと、今回ブース出展を行いました。

14万分の1サイズの左京区縮尺地図をオリジナルで製作し、左京区が交付金を交付しているまちづくり活動や、国・市の文化財に登録されている伝統行事を、写真や解説文にして地図に落としました。

また、合わせて左京区の多彩な地域資源を把握しようと、地図の横にフセンを置き、来場者おススメのまちづくり活動や場所・店舗などを書いて、地図に貼ってもらいました。

来場者からは、地域イベントやマルシェ、飲食店、自然風景など、70個以上のおススメが集まりました。



【役割／関わり方】

ふれあいまつり開催に向けた企画支援及びブース出展

- 「左京区民ふれあいまつり」の企画案作成及び出展団体の紹介
- 左京区縮尺地図(14万分の1)の製作
- 「左京区まちづくりMAPづくり」コーナー担当



この事業を担当したアドバイザー 吉田 泰基

【中京区】

君はいくつ見つけれられるか!?企業の魅力さがし

【事業概要】京都の大学に通う学生が京都の企業について学び、将来の職業観を醸成するとともに、京都での就職を考えるきっかけになることを目的に、中京区役所は京都中小企業家同友会中京支部と連携し、令和2年度から「地域と企業の未来をつなぐ人財育成プログラム」を実施しています。今年度は、中京区の中小企業により興味を持ってもらえるよう、「企業の魅力さがし」をテーマに内容をリニューアルしました。今後の就職活動に役立ててもらうため、参加大学生が自身の価値観を知るゲームの実施や、企業さんへのインタビュー、見つけた魅力をインスタグラム風に制作・発表と、3時間の中にたくさんの内容を盛り込みました。



【役割／関わり方】事業の企画、広報、当日の進行役

- 事業内容リニューアルのための企画立案
- 大学生へ事業広報を直接行うため、京都市内の複数大学にて中京区事業についての授業を担当者とともに実施（大学へ協力依頼）
- 当日の事業進行

通りの復権プロジェクト(Instagram 事業)

【事業概要】中京区では、「通りの復権プロジェクト」を組織し、歩行者優先の通りづくりの実現に向け、「通りの復権」をキーワードとして、道路の利用マナーの向上や美しく安心安全な道路環境の維持に取り組んでいます。今年度は、「通り」の魅力を広く若い年齢層に発信するため、Instagramにて通りで見つけた素敵な風景、行事、文化などを広く募集し「通り」について意識してもらう試みを行っています。



【役割／関わり方】事業全体のサポート役

- 洛陽総合高等学校、京都大学大学院交通情報工学研究室との協働を進めるための会議の進行（ワークショップ形式）
- 事業運営のためのアイデア出し、アドバイス
- 実務的な会議のサポート
- 広報協力
- 事例写真の撮影 等

この事業を担当したアドバイザー 松井 朋子

【東山区】

住んでこそ！東山プロジェクト

東山区移住促進にかかわる民間団体「東山くらしよし」の設立と運営

【事業概要】

第3期東山区基本計画に掲げる「人口減少に立ち向かう取組の展開『住んでこそ！東山プロジェクト』」を進めるにあたって、東山区の独自性（例えば、陶器産業等）を盛り込みつつ、地域力推進室や保健福祉センターと連携しながら取り組む。区民・事業者・行政がそれぞれの持ち味を生かしながら連携し、移住意欲や定住意欲を喚起する方策の検討を進め、持続可能な定住促進の取組に繋がるよう、新たな住環境や活力の創出を図る。



本事業にかかる民間事業者での取組として、移住者が住む前から住んだ後までのサポートをサービスとして提供するために「東山くらしよし」が発足した。

【役割／関わり方】団体の設立補助、運営、人材の発掘

- 東山区まちじゅう図書館プロジェクトと東山いきいき市民活動センターが合同で行う「しゃべくり大作戦」（東山区民が東山区のまちづくりについて話し合う場）に参加してくれた区民の中から意欲のある人材を発掘する。
- 「京都移住計画」の東山版を作るという目標のもと参加してくれた人材の特性と仕事を整理し、それぞれの個性に応じた役割を示す。
- 東山区への移住促進と移住者の定着に向け活動方針について助言を行う。

東山区まちづくり支援事業

東高松町向上委員会設立に向けて

【事業概要】

区基本計画で示される課題等の解決や地域の魅力の向上や活性化を図るため、それらに資する活動に係る費用を助成して活動を支援する。

まちづくり活動全般のアドバイスや情報提供も相談があった団体ごとに行っている。



【役割／関わり方】

東高松町向上委員会の設立に向けて支援事業の活用を助言

- 町内の仕事を円滑に進めるため、誰が町内会長に選出されても困らないように、町内会長の仕事をサポートする組織を地元の有志で作りたいという相談
- 支援事業を使って、町内の人々が楽しみながら日常の困りごとを学ぶ勉強会の実施などを助言
- 勉強会の視察

この事業を担当したアドバイザー 天岡 昌代

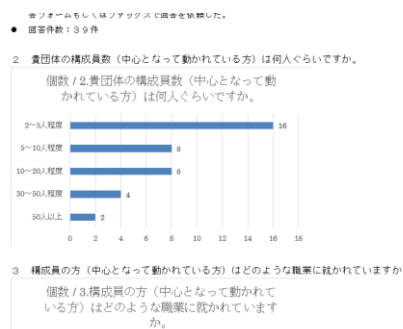
【山科区】

区民提案事業支援制度に関する分析と提案

【事業概要】

山科区では、地域団体、NPO 法人、大学等が自発的・自主的に企画、運営される事業に対し、必要とする経費の一部を補助する「山科“きずな”支援事業」を実施してきましたが、令和5年度はこの制度を休止し、効果の検証と、後継事業の検討を行ってきました。

この取り組みに資するため、過去の採択団体を対象とした調査結果の分析、及びそれを踏まえた新制度の制度設計を支援してきました。



【役割／関わり方】

新支援制度の提案に資する一連の取り組み（調査分析、新制度検討）の支援。

- 旧制度利用団体を対象とした調査結果の分析と報告。
- 新制度検討のための会議の議題設定及びファシリテーション。
- 新制度の設計に関わる提案資料作成。
- 区長ヒアリングなど意思形成過程での助言。

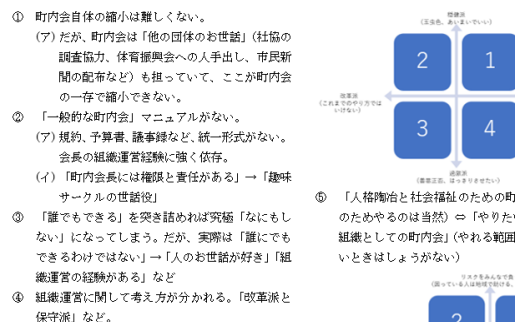
自治会・町内会相談対応

【事業概要】

令和5年度は、コロナ禍の鎮静化に伴い、ここ数年停止していた活動を再開する自治会・町内会が増えたため、活動再開の仕方や組織の改編を志す自治会・町内会役員からの御相談が相次ぎました。

御相談内容の対応に当たっては、各地域の事情や背景、相談に至った経緯を丁寧に聞き取りしつ

つ、相談者が目指す方向を実現するため、どんなことができるか、ともに考えるというスタンスで関わらせていただきました。



【役割／関わり方】

自治会・町内会役員からの相談への対応。

- 相談内容の聞き取り、相談内容の分析。
- 助言に必要な資料のリサーチ、作成、提案。
- 関係協力団体への中継ぎ、紹介。

【下京区】

交流促進・まちづくりアイデア創出プロジェクト

【事業概要】

区基本計画の実行主体となるようなまちづくり活動を行う事業者やグループの存在を顕在化し、連携・融合を図りながら、アイデア創出、アイデア実現化に向けたコミュニティ形成と交流、事業化への取組を支援する事業です。今年度は交流会と相談会を開催し、参加団体のネットワークづくりとアイデア実現に向けた助言・支援を行いました。



【役割／関わり方】事業の企画・運営支援

- 企画全体運営への助言
- 事業委託団体との調整、交流会・相談会の設計に関する助言
- 当日の進行サポート
- 交流会後の参加者ヒアリング、相談会の企画、実施サポート

下京区長 Meet up

【事業概要】

区長と地域のリーダーとの懇談会「区長懇談会」。平成30年度からは名称を「下京区長 Meet up」とし、ワークショップ形式で地域課題の解決に向けた意見交換を行っています。今年度は対面でのワークショップ形式を復活させ、「空き家」をテーマに、各学区の空き家に関する課題の抽出と、課題解決に向けた個々人・地域での取組の共有・意見交換を行いました。



【役割／関わり方】事業の企画・運営支援

- 企画段階におけるアドバイス・情報提供
- ワークショップの全体設計
- 当日のワークショップ全体進行
- 報告書の作成サポート

この事業を担当したアドバイザー 浅田 真実

【南区】

区民レポーター制度による魅力発信事業への協力

【事業概要】

令和 5 年度の情報ステーション事業では、初めて区民からレポーターを募り、レポーターが南区の魅力を発信する形の情報発信をおこないました。南区に住んで日の浅い区民や、子育て現役世代のレポーターも参加するため、地域を見ていくためのさまざまな角度からの情報を、できるだけ多様に提供できるよう努めました。



【役割／関わり方】

区民レポーターが取材先を見つけやすくするためのきっかけづくり等の助言

- レポーター登録者向け講座等における“まちの見方”や“地域情報へのアクセス”についての解説。
- 区役所が主催または事務局を担当するイベントにおける、レポーターへの地縁団体役員等の紹介、顔つなぎ。
- 公的機関や民間が主催する催しなど、取材先候補の情報提供、SNS での声かけ等。

課を超えた連携事業の取り組みへの協力

【事業概要】

転入者の多い子育て世代にも、住んでいるまちの防災を考えてもらおうと、区役所子どもはぐくみ室と地域力推進室防災担当との連携事業に協力し、防災講座の実施に取り組みしました。



近年では、現役子育て世代が防災士など防災リーダーとなって情報発信する動きなどが各地で増えています。そこで、自分ごととして親子防災について考えるきっかけを提供すると同時に、講座をきっかけに地域防災への関心を高めてもらう期待も込め、まずは地域の児童館での防災講座を実施しました。

【役割／関わり方】

子どもはぐくみ室と地域力推進室防災担当の連携事業の伴走支援。

- これまでのアウトリーチの方策の課題を含めて企画会議をおこない、外部講師を招いての初の試みを無理なく進めていけるよう努めた。
- 今後の担い手発掘を意図しつつも、まずは安心して講座を開催できるよう、さまざまな個性の防災士の中から講師候補を推薦し、区内の特徴や資料を提供した。
- 日頃自主防災会や児童館事業等に来ていない人たちにも声をかけるなど広報に協力し、当日の進行等にも協力した。

【右京区】

右京 M-1(まちづくりワン)グランプリ

【事業概要】 M-1 といってもMは「まちづくり」の頭文字。これまでまちづくり活動への助成金は市の財源から出ていましたが、右京区では市民から「右京ファンクラブ会費」としていただいた資金によって助成する方法に変わりました。書類審査を経てコンテストに臨んだ8者によるプレゼンののち、審査委員からの得票、会場参加のファンクラブ会員の得票を集計し、最優秀賞（グランプリ）、優秀賞、入賞（2件）の合計4団体が決定しました。ファンクラブ会員の意思を審査に反映させるプロセスにより、活動実施者が出資者のことを意識することで、より効果的な事業となることを期待しています。



【役割／関わり方】事業の企画や運営支援

- 事務局による原案作成プロセスに関わるとともに、ファンクラブ運営委員会での議論に参加。
- 当日の運営。
- M-1 グランプリ以外に委員が伴走応援する推薦事業や資金以外の応援についての仕組み検討。
- MACHIKO など区役所の持つまちづくり活動支援機能を含めた仕組み検討。

右京区区長懇談会における意見交換

【事業概要】 右京区自治会連合会の各学区会長と区長の懇談会。今年度は町内会・自治会の直面する困難について情報交換し、対処方法について話し合いました。話題提供として右京区まちづくり区民会議世話人代表の土井氏からは、ご自身の経験された町内会における課題とそれに対する試行錯誤の経緯を説明していただきました。その後、参加者同士のグループワークで、話題提供の事例を含めてそれぞれの地域での課題、対処方法について話し合いました。



【役割／関わり方】事業のサポートやグループワークのファシリテーター

- 話題提供を受けての意見交換ができるようにプログラムを作成
- グループワークのファシリテーター

この事業を担当したアドバイザー 佐藤 友一

【西京区】

西京ふぁみラリ

【事業概要】

団体や店舗、施設等と連携し、子育てにやさしいまち西京区の魅力を発信する、子育て世帯を対象としたスタンプラリー『西京ふぁみラリ』を開催しました。

飲食店や寺社、農産物直売所や金融機関など、多彩な魅力をもつ約30店舗（施設）が、子育て世帯を応援する様々な特典や取組を提供し、親子で気軽に近所へお出かけする機会や、新たな店舗との出会いを創出しました。

また、教育や子育て関係機関による広報協力なども含め、西京区一体となった子育て応援気運の醸成にもつながりました。



【役割／関わり方】

多様な主体の連帯によるイベント実施を支援

- 事業の方向性や企画の検討、イベント期間の運営を支援しました。
- 子育て世帯に向けた広報展開をサポートしました。

レッツ自治活動！大作戦

【事業概要】

自治会活動の持続に向けて、アンケート調査や広報活動をおこなってきた『レッツ自治活動！大作戦』。昨年度に続き、ICTを活用した自治活動の負担軽減と魅力発信に取り組めました。

自治会・町内会専用SNS「いちのいち」を活用する檜原自治連合会では、利用対象を自治会加入全世帯に広げ、情報共有のさらなる円滑化に取り組めました。

また、「Instagram」を活用し、自治連合会を中心とした地域活動の発信や、まちの多様な魅力を伝える#（ハッシュタグ）投稿の編集を進め、まちづくり活動の見える化を図りました。



【役割／関わり方】

地域活動におけるICTの積極的活用を支援

- 事業の方向性や企画の検討、取組実施に向けた展開を支援しました。
- 多様な世代への取組周知やデジタルツールへの理解促進などをサポートしました。

この事業を担当したアドバイザー 西原 秀倫

【洛西支所】

洛西“SAIKO”プロジェクト 公民連携「せせらぎシアター」

【事業概要】

洛西支所は UR 都市機構と、洛西ニュータウン内の「地域医療福祉拠点化」を推進するとともに、UR 団地周辺環境を“地域の資源”として活用し、地域一体で多様な世代が生き生きと暮らし続けられるまちの実現を目指しています。令和5年度は、UR 都市機構及び京都市の共催で、まちの魅力再発見を目的に、小畑川の河川敷「水辺の舞台」で屋外シネマイイベント・公民連携「せせらぎシアター」を開催し、洛西ニュータウンに賑わいをもたらしました。



【役割／関わり方】

- 企画設計に関する助言、企画 MTG への参画
- 地域企業、NPO、地域住民、教育機関、金融機関等の多様な主体の巻き込み
- ステージや出店ブースなど企画の具現化に関わる調整。

地域コミュニティの活性化

【事業概要】

核家族化や共働き世帯の増加により、地域活動に参加する住民が減少し、地域住民相互のつながりの希薄化や地域力の低下が懸念されています。令和5年度、洛西支所管内の自治会・町内会においては、SNS を活用した地域のコミュニケーション方法を検討したり、ICT 等を活用しての負担軽減や情報共有の迅速化につなげようとしたりすることで、これまでの地域活動を見直す動きがありました。



【役割／関わり方】

- 自治会、町内会運営や新たな地域コミュニティ形成に関する相談への同席・助言
- 洛西支所管内やその他の地域コミュニティに関わる事例収集
- 地域コミュニティサポートセンター担当まちづくりアドバイザーとの調整・連携

この事業を担当したアドバイザー 木村 響子

【伏見区役所】

久我・久我の杜・羽束師地域のまちづくり

【事業概要】

本年度の健康・福祉まつりは、久我の杜小学校を会場に開催されました。今回は子どもたちや親子連れでの参加が多くなり、世代を超えたつながりづくりや子育て世代へのサポートなど、今後の取組につなげていければと思います。

また毎月の会合では、地域活動についてお話しする機会も増えてきました。イベントなどの運営のサポートから、地域コミュニティの活性化へのサポートに広がっていければと思っています。



【役割／関わり方】

地域のみなさんの自主的な活動のサポート役

- 地域のみなさん相互の意見交換のファシリテーション
- 円滑な進行や今後に向けた提案など、まちづくり協議会の運営面のサポート
- 継続して参加する中で、地域コミュニティ活性化のきっかけづくり

伏見区「区民活動支援事業」の企画運営

【事業概要】

区民活動支援事業には例年多くの応募がありますが、事業を通じて資金面でのサポートとともに、申請書提出から活動の継続へのアドバイスを行っています。年度途中に支援制度を受けている団体間の交流会を開催し、情報提供や新しいつながりづくりなどを行っています。

また区役所本所・支所の担当者間で、相談対応や活動支援についての情報交換や事業のこれからについても話し合いながら事業を進めています。



【役割／関わり方】

申請団体へのサポート、支援事業のこれからに向けた区役所内の検討をサポート

- 申請書提出だけでなく、活動継続に向けた情報提供やアドバイス
- 交流会の企画運営、当日のファシリテーション
- 区民活動支援事業の運営面でのサポート

【深草支所】

深草ふれあいプラザ

【事業概要】

深草では、毎年10月に幅広い世代の住民が相互に交流を深めるとともに、深草の良さを実感し、地元への愛着を深めてもらうことを目的として、深草ふれあい事業（ふれあいプラザ）を開催しています。

令和2年度～令和4年度までの3年間は、コロナ禍等のため中止となりましたが、この中止となった機会を利用して、プラザの中身の見直しや経費節減など持続可能で、地域が主体となって開催する方法を検討するなど、今年度からの再開に向けた準備を進めてきました。



【役割／関わり方】

複数の主体（実行委員会形式）による事業の企画運営支援

- 事業全体の企画運営に関する助言
- 個々のチーム活動に関する支援
- 実行委員会メンバーに対する支援（ミーティングへの参加など）

この事業を担当したアドバイザー 大塚 敏之

深草地域の文化「保存・継承・創造」プロジェクト

【事業概要】

この事業は、深草の「暮らしと文化」に関する古写真などの資料を収集してデジタルアーカイブ化し、アーカイブ化した資料を誰もがダウンロードできるホームページに掲載するなどして、広く活用を促しています。

事業の運営は、深草ゆかりの市民活動団体や大学の先生からなる実行委員会が担っていて、今年度は昨年度に引続きアーカイブ化した古写真等をどう活用していくか？ということについて、実行委員会のメンバーの皆さんと共に考えながら、実践していく一年でした。



【役割／関わり方】

複数の主体（実行委員会形式）による事業の企画運営支援

- 事業全体の企画運営に関する助言
- 個々のイベントの企画運営に関する助言
- 実行委員会メンバーの作業支援（展示用パネルの作成など）

この事業を担当したアドバイザー 大塚 敏之

【醍醐支所】

だいが まちづくりプレイヤー養成講座(まちプレ)Part II

【事業概要】

醍醐でのまちづくり活動の裾野を広げるため、「だいが まちづくりプレイヤー養成講座」を実施しました。2年目の今年度は、19名の受講生がまちづくり活動に実際に参加し、様々な役割を担う体験型の講座（全4回）を実施しました。受講生は、地域の方をおもてなしする「まちづくりフェス」や「こども食堂」のお出かけ企画の運営を体験しました。修了生は、醍醐支所が地域に派遣する「だいが地域活動応援隊」などでの活躍が期待されます。



【役割／関わり方】

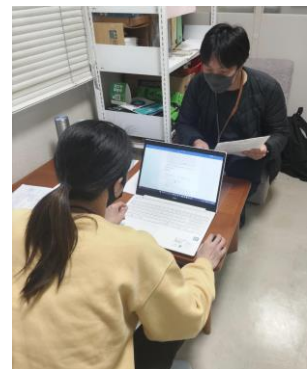
講座枠組みの立案・受け入れ先との体験内容の共同企画・修了生のアフターフォロー

- 講座の目的に沿った実施形態や講師候補の提案
- 体験活動の実施に向けた、受け入れ先（イベント主催者）との調整
- 講座での司会進行、体験活動当日の受講生サポート
- 修了後の活動サポート（市民活動支援機関や制度の紹介、事業化の伴走支援）

伏見区区民活動支援事業サポート

【事業概要】

伏見区でまちづくり活動を実施する団体・グループに活動経費の一部を支援する「伏見区区民活動支援事業」。醍醐地域からは、「不登校の子をもつ親向けのユニークな講座」「木造建築の良さを子どもに知ってもらう小屋づくりワークショップ」「体験型こども食堂」など10件が採択されました。上記「まちプレ」や「だいが de ワイワイ井戸端会議」（主催：醍醐いきいき市民活動センター）など、まちづくりプレイヤーを掘り起こし、養成する取組から生まれた活動や団体も増えてきました。採択団体を対象にした意見交換会の実施によって、採択者同士のつながりも生まれつつあります。



【役割／関わり方】

醍醐支所管内における事業の掘り起こしや相談対応、採択者への伴走支援

- 昨年度まちプレ修了生等への制度の周知、相談対応
- 申請希望者への情報提供、各種相談対応
- 採択者への伴走支援
- 採択者を他の活動者や支援機関等につなげる際のコーディネート

この事業を担当したアドバイザー 山田 大地

【地域コミュニティサポートセンター】

自治会・町内会活動の事例収集と発信

【事業概要】

自治会・町内会は、住民同士で身近な地域の自主的なまちづくり活動を行う任意団体であり、その困りごとや対処方法は、世帯数や成り立ち、活動内容などに応じて様々です。地域コミュニティサポートセンターや区役所・支所において、実情が異なる様々な相談に対して参考となる事例を紹介できるよう、地域に出向いて情報収集を行い、主体的に活動されている地域の方々の後押しができるよう、以下の取組を通して幅広く発信しています。

(1) 京都市自治会・町内会&NPO おうえんポータルサイト

京都の自治会・町内会運営に役立つ情報を一元化して発信しているポータルサイトでは、悩みごとに応じた解決事例を随時更新しています。また、中でも楽しく熱心に活動している方にはコツや動機を詳しく取材し、人物像や背景が伝わる記事にまとめて紹介するページを新たに設けるなど、情報発信の強化に努めました。



新たにできた事例紹介のページ

(2) 京都の自治会・町内会困ったときのヒント集

「こんな時、ほかの町内ではどうしているの?」という地域の方からの疑問の参考となるよう、様々な町内の“ちょっとした工夫”を冊子にまとめて紹介しています。今年度は、コロナ禍で活動が大幅に制限された地蔵盆や地域のお祭りなどの活動再開事例の取材に積極的に取り組み、Vol.3の発行に向けて準備を進めました。



“ちょっとした工夫”を紹介する冊子

(3) 地域コミュニティを考える会

各区役所・支所、地域自治推進室、その他関連部署等の職員同士が、京都の地域コミュニティに関する課題や事例等を共有し、地域支援策について意見交換を行う会の企画運営を行いました。今年度は、京都の地域コミュニティの現状、課題を共有し、デジタル技術の活用や担い手不足への対応、連携・協働によるつながりづくりをテーマに実施しました。



地域コミュニティを考える会の様子

(4) 地域コミュニティサポートセンター通信

地域コミュニティに関連する事業や工夫して取組まれている地域事例、地域活動に取り組む職員の様子などをまとめ、庁内に発信しました。

【役割／関わり方】

- 変化の著しいこれからの地域コミュニティに参考となる事例を取材した
- 職員や各区役所・支所を担当するまちづくりアドバイザーと連携し、地域の実態を踏まえた地域コミュニティ支援を行った

この事業を担当したアドバイザー 小林 明音